

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	英語教育推進事業		
事業担当	学校教育部 教育指導課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'05	5 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	教員、小中学校の児童・生徒	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
教員の外国語活動及び英語科の授業に関する力量を高めることで、児童・生徒のコミュニケーション能力の素地・基礎の育成が図られています。		小・中学校における英語教育の充実のため、小学校外国語活動に関わる講師招聘による研修会等を実施するとともに、外国人英語指導者の効果的な活用を支援します。また、実用英語技能検定の検定料を補助します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	小学校外国語活動関連研修会参加延べ教員数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	450	360	160		
	実績	233	161	119		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	小学校外国語活動関連研修会参加者からの評価			単位	点
	説明・算定式	小学校外国語活動関連研修会参加者によるアンケート(4段階)の平均値				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	3.5	3.5	3.5		
	実績	3.9	3.9	3.6		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	②：若干遅れている					
	遅れている理由	研修会は小学校にて8校を予定したが、日程調整の結果、5校での実施となったため。				
平成27年度の主な取組と成果						
講師招聘により教員対象の研修会・学習会等を実施するとともに、外国人英語指導者の効果的な活用を支援することで、教員の外国語活動の授業に関する力量を高め、児童のコミュニケーション能力の育成を図りました。また、中学校対象の英語検定奨励交付金事業では生徒の実用英語技能検定の受検に対して奨励金を交付しました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	小・中学校における英語教育の充実を図るため、小学校外国語活動及び中学校英語科授業に関わる研修会・学習会を計画的に行うことが必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	講師招聘による教員対象の研修会・学習会の実施及び外国人英語指導者の効果的な活用を支援することにより、児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、小・中学校における英語教育の充実が図られています。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	講師招聘による研修会・学習会等を教員対象に実施することにより、教員の外国語活動及び英語科の授業に関する力量を高め、児童・生徒のコミュニケーション能力の素地・基礎の育成が図られています。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	小学校外国語活動に関わる研修会等に、中学校の英語科教員も参加し、小・中学校の連携も踏まえた英語教育の充実を図る必要があると考えます。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 児童・生徒の英語に対する興味や関心を高めるため、小学校の外国語活動の充実や中学校における英語科教員の授業の実践的向上を図ることが必要であると考えます。また、小学校では平成32年度から始まる教科としての英語、外国語活動の中学年での実施を見据えて取組を深める必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		講師招聘による研修会・学習会等の実施	講師招聘による研修会・学習会等実施、実用英語技能検定の検定料補助	講師招聘による研修会等の実施、実用英語技能検定の検定料補助
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	60	63
	一般財源	498	1,369	845
事業費 (A)		498	1,429	908
執行率 (%)		100.00	96.75	79.65

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 次回の学習指導要領改訂に向けて、小・中学校における英語教育の充実と教員の授業力向上に向けて取り組んでいきます。また、中学校では生徒のコミュニケーション能力の基礎を養うとともに英語に対する学習意欲を高めるため、実用英語技能検定の受検に対して奨励金を交付する事業も継続して取り組みます。
課長コメント 学習指導要領の趣旨を踏まえ、また、全面実施に伴い市民ニーズも含め、引き続き小・中学校における英語教育の充実と教員の授業力向上を図るとともに、実用英語技能検定も活用しながら児童・生徒のコミュニケーション能力の素地・基礎の育成を図る必要があると考えます。